

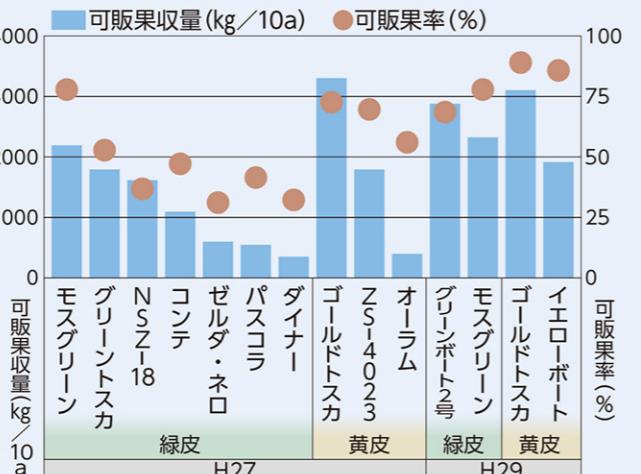
三浦半島に適する栽培方法とは？



チャンネル被覆栽培

播種時期により収量が違う！

トンネルを被覆してズッキーニを栽培した時に安定的な可販果収量を得るために、2月から3月に播種する必要があります。2月に播種す



※作型は3月播種、平成27年度は3/5播種、3/23定植、収穫期間5/6~6/18、平成29年度は3/23播種、4/13定植、収穫期間5/4~7/24、植物ホルモン処理有り、可販果収量は各品種・系統とも試験年度の果重×果数×(栽植本数:59.5本/a)×可販率率から算出。可販率率は山がゆりや麻酚、収穫率(40.0%±1%)等を除いた可販果の重量割合

図 各品種・系統の可販果収量及び可販果率

最後に

け散布することができます。手間はかかりますが、散布することで写真のよう
に正常な果実となり、腐敗
果や変形果の発生を減らす
ことがでるので可販果収
量の増加に繋がります。



ホルモン処理の有無による果形の違い (品種‘ダイナー’)

關東農產物品評會開幕

JAよこすか葉山大楠地区運営委員会主催の平成31冬期農産物品評会を2月15日、大楠支店で開きました。花卉、果実が昨年より多く出品され、合わせて202点の中から入選36点、特選7点が選ばされました。特選の方々を紹介します。
(敬称略)

横須賀青果物株式会社社長賞	プロッコリー	
三浦半島農業改良推進協議会長賞	レタス	
よこすか葉山農業協同組合長賞	白梅干し	
よこすか葉山農業協同組合 青壯年部 大楠支部長賞	カリフラワー	
大楠花卉園芸組合長賞	金魚草	
よこすか葉山農業協同組合 冬春野菜出荷部会大楠支部長賞	キャベツ	
よこすか葉山農業協同組合 大楠支店長賞	レモン	



憂良品重は二三事

収量性や腐敗果・変形果の発生率などズッキニは品種特性の差異がとても大きいため、導入する品種の選定が大変重要となります。

収量性が高く、可販果率が高いものとして、緑皮品種が「モスグリーン」、「グリーンボート2号」、黄皮品種が「ゴールドトスカ」、「イエロー・ボート」が挙げられます。

これらの品種を用いる場合でもアブラムシやウドンコ病などの病害虫は発生します。しつかりと防除を行いましょう。

収量性や腐敗果・変形果の発生率などズッキニは品種特性の差異がとても大きいため、導入する品種の選定が大変重要となります。

収量性が高く、可販果率が高いものとして、緑皮品種が「モスグリーン」、「グリーンボート2号」、黄皮品種が「ゴールドトスカ」、「イエロー・ボート」が挙げられます。

これらの品種を用いる場合でもアブラムシやウドンコ病などの病害虫は発生します。しつかりと防除を行いましょう。

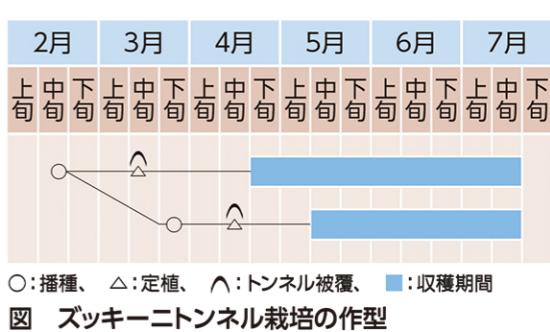


図 ズッキーニトンネル栽培の作型